

教団新報

定 価 1部144円(本体133円+共206円)
予約購読料 1年分 千共 5,150円
紙代のみ 3,600円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 道家紀一
編集主筆 渡邊義彦
印刷所 株式会社きかんし



高知東教会(四国教区高知分区)

わたしは、神の恵みを無にはしません。もし、人が律法のお陰で義とされるとすれば、それこそ、キリストの死は無意味になってしまいます。

《ガラテヤの信徒への手紙 2章21節》

無にはしません！ 神様がキリストを与えて下さって以来、この決意はずっと私たちの前に与えられています。言わばキリストが私たちの顔を見つめられて、そうだろう、私たちはこの恵みを無にしようだなんて思わない、さあ、わたしについて来なさいと、言っている。そうやってキリストと共に恵みに生

きる決意を新たにしている。私も何度か、私にはキリストと共に生きるこの恵みを無にはしません、イエス様、助けて下さい！と主に向かい、日々新たに。人や悪魔は言うかもしれない、あ、もう決意破ったのって。でもキリストはそうはおっしゃらない。さあ、わたしはキリストと共に恵みに生

きています。恵みに共に生きよう。ついて来なさいと言われる。だから言えるのです。私は神の恵みを無にはしません。それが神様のくださったイエス・キリストの恵みだからです。

「無にはしません」という言葉は「無効にしない」と言い換えて得る言葉です。私は神様のこのキリストの恵みを、無効には

しません。無効にも色々ありますが、キリストの恵みを無効にしないとは、こんなイメージでしょうか。私は、刑務所で収容者の助けをする教誨師と、これを支える後援会の事務局員もしています。会

社は四国銀行の相談役。後援会運営のお金を出し入れする銀行口座も四国銀行にあって、通帳の名前は会長の名前です。結構な額が後援会費として振り込まれます。私が必要なお金を引き出す時は、会長の名前を書いて後援会のハンコを押して窓口に行くと、引き出せる。そのあたり、イエスを無効にするこんなことがありまして。後援会費

の振り込みを確認しようと四国銀行の入口にあるATMに通帳を入れたら、使えません、と返ってくる。頁を間違えたかなと入れ直しても、使えません、ベロっと。何回やってもダメ。しばらく仕事を怠けて通帳使っていなかったから、ひょっと期限切れで無効になった？と、真っ青になって窓口行くと「この通帳使えなくて返ってくるんですか」と見せたら「すみません、これはうちで扱えません」と返された。「え？何でですか？」と尋ねたら「うちが高知銀行です。四国銀行さんはお隣です。大汗かいて外に出たら駐

車場がくっついてまして、入る銀行を間違えていました。皆さん、キリストの恵みを頂いて、入る場所、その恵みが有効に働く場所を間違えるってこと、ないでしょうか。具体的に言うなら、自分はこんなにも頑張っているんだからと、自分が主語になってしまいう態度に入り込んでしまうと、御言葉が言う「律法のお陰で義とされる」「自分を信じましょう銀行に、恵みの通帳を持っていくようなものです。この世の至る所に支店がある自分を信じましょう銀行では、この恵み、キリストの恵みは無効なのです。

キリストと共に生きる恵みを無にはしない

ガラテヤの信徒への手紙 2章21節

恵みのみ！を歩み続けよう



野口幸生

キリストが身を献げられた目的

キリストが私たちのため身を献げられたのは、このため！という目的があるのです。それは単に天国という、ともするとホンヤリしてしまう死んだ先のことだけでなく、今！律法のお陰ではなく、つまり自分の頑張りや自分の正しさのお陰で自分は天国にも入れるほど正しくやっていけると自分を信じるのではなくて、むしろそんな生き方や態度のお陰で、自分ではなく人の気持ちを考えて生きる愛の生き方も、まして神様のお気持ちを考えて生きることが

できない生き方をしてしまつ。人にも神様にも罪を犯してしまう。それでも自分は正しいと、どうしても捨てられない間違った正しさを、だからキリストが十字架で引き受けられたのです。愛に生きられないあなたに正しさを、わたしがこの身ごと捨てると、聖なる裁きを身代わりに受けられて、ご自身を、私たちとなって捨てて死んで下さった。それは私たちが古い自分も古い使えない正しさも脱ぎ捨てて、神様の愛という新しい正しさに生きるた

めです。それが私たちの受けているキリストの恵み、キリストが私たちの救い主として、さあ、この正しさに生きよう、共に生きて下さっている理由と目的です。

それはもう罪を決して犯さないというのではありません。むしろまた自分を信じたがばかりに、神様を悲しませることをしてしまった罪を、ごめんなさいと悔い改めて、自分の正しさを捨てて、キリストをくたさった神様の恵みの正しさに、何度も何度も向き

直って生きられる道、恵みの道に、私はもういるということです。その道から離れようとするでしょう。くるっと後ろ向いて古い生き方に戻ろうとするでしょう。罪の力、肉の誘惑は強いのです。それでもそこにある恵みの道は消えません。希望の光、信仰の光は消えません。そこにキリストが、常に、私たちと共に、そして私たちの前に、私たちの主として、救い主としておられて言われるからです。この恵みを信じなさい。あなたは神様

の正しさに生きられる。あなたの罪は赦された。あなたはわたしのものだ。だから一緒にこつちを向いて歩む他ないだろう。こつちがゴールだ。共にゴールするんだと、復活の主が共に歩んで下さっている。宗教改革の標語、恵みのみ！これは何よりキリストをくたさった神様の決意です。わたしはあなたをあきらめないから、あなたも、わたしの正しさに生きることをあきらめるな、信じよと言っている。だから私たちもこの神様の恵みを信じて、私はキリストを無にはしませんと歩み続けていくのです。

(高知東教会牧師)

▶ 伝道対策検討委員会 ◀

機構・財政検討小委員会 「中間報告」を提示



機構改正はじめ、改定案を検討

1月22日、日本キリスト教会館NCC会議室にて、第5回教団伝道対策検討委員会を開催した。前回議事録承認、第2回教区議長会議報告の

後、教団機構・財政検討小委員会より「中間報告」が提示された。これは、これまでの教団機構改正を振り返り、機構検討の基本方針を定め、新たな教団機構改定案を示すもので、内容は次の通りである。

「1. 教団機構の改定と財政」として、財政規模に応じた教団機構を考え、委員会を改編し、総務局、伝道局を設置する。

「2. 教団総会の規模と在り方」として、教団総会では法定議案を中心に扱い、議員数を減らし、経費を削減する。「3. 各個教会強化への財政支援」として、日本伝道の喜びが教団全体に満ちることを願って、小規模教

補助申請に対し、「世界宣教の日」献金より各5万円の支援を行う。

カナダ合同教会から教団の宣教のための指定献金があり、その一部を、日台、CCA（アジアキリスト教協議会）ユース

大きな改編の検討に沖縄教区も加わることができるようにしてほしい、委員会改編は慎重にやってほしい、教団財政の見通しからしてもこれらのことにすぐに取りかかる必要がある、臨時教団総会を開催して教団機構改定の審議をしてはどうかなど々の質問や意見が出された。

伝道対策検討委員会としては、この「中間報告」の検討の方向性を承認し、第4回常議員会においてこれを報告し、協議することにした。

次回委員会の開催については、同常議員会において決めることとした。（雲然俊美報）

宣教研究所第4回委員会を1月22日、教団会議室にて開催した。主に今期活動計画の中核と位置付ける活動を検討した。

②教会と付属施設の課題 小林光委員が発題を担当し、「教会と付属施設（幼稚園の関わり）」をテーマに小委員会を開催した。協議では教会と付属施設の関係が乖離することの要因として理念継承の問題、担い手の問題、主日と平日の時間共有の問題、財政の問題等が挙げられ、発題者独自の視点から有意義な考察が提示された。これを受け、

宣教研究所第4回委員会を1月22日、教団会議室にて開催した。主に今期活動計画の中核と位置付ける活動を検討した。

②教会と付属施設の課題 小林光委員が発題を担当し、「教会と付属施設（幼稚園の関わり）」をテーマに小委員会を開催した。協議では教会と付属施設の関係が乖離することの要因として理念継承の問題、担い手の問題、主日と平日の時間共有の問題、財政の問題等が挙げられ、発題者独自の視点から有意義な考察が提示された。これを受け、

小委員会はキリスト教保育連盟と教会幼稚園連絡会にも参加を呼びかけ、シンポジウムを開催することを検討中である。

③聖餐に関するハンドブック改訂 前回の協議を受けて、今後は宣教研究所の公式発行物として維持することをせず、同ハンドブックの問題点を精査した資料をこの判断の根拠として公表することとした。

④青年の性に関するシンポジウム開催 「キリスト教倫理から見た現代社会における青

年と性」（仮題）をテーマに、4月16日、教団会議室においてシンポジウムを開催する。町田健一氏（北陸学院大学人間総合学部教授・同短期大学部学長）、大嶋重徳氏（KGK総主事）を講演者として予定している。教区青年活動担当者、キリスト教学校・宗教主事、教師委員会、教育委員会、伝道委員会、宣教委員会、伝道推進室、教会青年活動担当者などに参加を呼び掛けたいと考えている。（岡本知之報）



4 月より西之園委員長に（右手中央）

世界宣教委員会 秋山総幹事就任に伴い委員長・書記 新たに選出

第3回世界宣教委員会が、1月5日に教団会議室を会場に開催された。冒頭に、前総会期に世界宣教委員を務めた鍋谷憲一牧師が1月3日に逝去したことが報告された。

インドネシアのミナハサ福音キリスト教会と日本基督教団との宣教協約訪問によって、将来の宣教協約に向けての覚え書きの承認がミナハサ福音キリスト教会の執行部との間で行われた事が報告された。

主な協議事項は以下の通りである。

2018年4月より、秋山徹世界宣教委員長が、教団総幹事就任を受け、4月からの残りの任期、西之園路子書記が委員長に、近藤誠委員が書記に選出された。また特別に委員の補充は行わず、現在の委員で任期を全うする方向が確認された。

川上寧宣教師・真咲宣教師からの「語学研修費」および「緊急費（急な引越が必要）」、佐々木良子宣教師からの「語学研修費」および「医療費」の

第4回在日韓国朝鮮人連帯特設委員会が1月9日、教団小会議室で開催された。

協議の結果、以下の事項を決定した。

①2月1・2日に北海道クリスチャンセンター（札幌市）で開催される

第32回外キ協全国集会（主題「アイヌモシリ／人間の静かな大地」）から他民族・文化共生の天幕を広げよう」に宮本義弘委員長が出席する。なお、外キ協の資料集の中に「在日韓国朝鮮人連帯特設委員会」の広告を掲載

第32回外キ協全国集会（主題「アイヌモシリ／人間の静かな大地」）から他民族・文化共生の天幕を広げよう」に宮本義弘委員長が出席する。なお、外キ協の資料集の中に「在日韓国朝鮮人連帯特設委員会」の広告を掲載

第32回外キ協全国集会（主題「アイヌモシリ／人間の静かな大地」）から他民族・文化共生の天幕を広げよう」に宮本義弘委員長が出席する。なお、外キ協の資料集の中に「在日韓国朝鮮人連帯特設委員会」の広告を掲載

第32回外キ協全国集会（主題「アイヌモシリ／人間の静かな大地」）から他民族・文化共生の天幕を広げよう」に宮本義弘委員長が出席する。なお、外キ協の資料集の中に「在日韓国朝鮮人連帯特設委員会」の広告を掲載

第32回外キ協全国集会（主題「アイヌモシリ／人間の静かな大地」）から他民族・文化共生の天幕を広げよう」に宮本義弘委員長が出席する。なお、外キ協の資料集の中に「在日韓国朝鮮人連帯特設委員会」の広告を掲載

「在日韓人歴史資料館」を訪問

在日韓国朝鮮人連帯特設委員会

ミッション等への青年派遣のため、また教団総会で世界宣教に関する事前準備、翻訳、海外ゲストの送迎等を青年たちに手伝ってもらうための費用としてこの献金を用いる事を決定した。

できるだけ広く派遣青年を推薦してもらうために、世界宣教のネットワーク作りが必要だと考えている。教区の世界宣教担当者を集める会議を行うことも検討していきたい。

教団から北米西海岸に派遣されている宣教師たちを集めた「北米西海岸リトリート」は、2018年6月開催を目指している。

宣教師人事に関しては、新たにユニオン日本

語教会（アメリカ・ニューヨーク）へ上田容功牧師を、台南神学院（台湾）へ高井ヘラー由紀姉を派遣することを可決し、それぞれの派遣式の日程、会場を調整した。（西之園路子報）

委員会終了後、港区南麻布にある「在日韓人歴史資料館」を訪れ在日の歴史について学んだ。

この資料館は、「韓人が日本に渡航した事情、在日の生活実態、権利擁護運動などの各種資料を蒐集・整理し、公開・展示することを通じて在日の歴史を後世に伝えることを目的」に設立された。どれも大変詳しい説明が

あり、在日韓人の苦難と誇りを知ることが出来た。

資料館の中で、関東大震災時の朝鮮人虐殺の歴史のコーナーで、萩原朔太郎の「近日所感」という詩に注目させられた。「朝鮮人あまた殺され／その血百里の間に連なれり／われ怒りて視る、何の惨虐ぞ」。

埼玉県の中仙道沿いで目撃した惨状を詠んだものである。作者の強い怒りが伝わって来ると同時に人間のどうすることも出来ない罪を感じ、主イエスの十字架の赦しと全ての人への福音を祈った。（豊川昭夫報）

2・11メッセージ

1967年より、日本基督教団は毎年2月11日を「信教の自由を守る日」としている。そもそもこの日は建国記念の日として祝日に定められているのであるが、これはそれ以前には「紀元節」と言われ、天皇制を中心とする統一国家が成立したとの建国神話をベースとして定められるに至ったものである。

何故教団ではこれに異議を唱え、むしろこの同じ日を「信教の自由を守る日」としたのか。それは、戦前、天皇制の名のもとに信教の自由が奪われてきた歴史があるからである。「自由を守る」というからにはその自由が抑圧されてきた歴史をここに顧みざるを得ない。それは天皇を現人神として祭り上げ、その宗教的枠組みたる国家神道への

今から5年ほど前の2012

年8月の光復節に韓国(天安)

の独立記念館を訪れた。ここ

には神社参拝を強要された朱基徹

(チュ・キチョル)牧師の殉教

の出来事や、堤岩里(チエラム

リ)教会焼き打ち事件の経緯が

詳しく展示され、頭で理解して

いたことを超える壮絶な悲惨な

経験を韓国民衆に強いていたこ

とを知らされ悲しみと苦痛に胸

うたれる思いであった。

私も、かつての時代、国

家に迎合し、その戦争施策に同

調することにおいて、信教の自

由を失う」経験をし、信仰の根

拠をないがしろにし、アジアの

隣人に苦難と悲しみを強いたの

である。このことに深く心の痛

みを覚え、罪責の告白と、罪の

赦しを祈りつつ、二度と同じ轍

を踏まぬよう心しつゝありたい

ものである。全国の「信教の自

由を守る日」の集会の上に神の

豊かな祝福がありますように。

(社会委員長 森下 耕)

▼韓国・台湾・スイス協約合同委員会▲

「韓日5教団実務者会議」3月開催

第3回韓国・台湾・スイス協約合同委員会が1月25日、教団小会議室を会場にして開催された。報告事項では、10月11・17日にミャンマーで開かれたCCAアジア宣教会議と60周年記念礼拝、11月27・28日に同志社びわこリトリートセンターで開かれた第4回韓日5教団(大韓イエス教長老会、韓国基督教長老会、基督教大韓監理会、在日大韓基督教会、日本基督教団)の宣教師に関する実務者会議、12月4・7日にインドネシア・ミナハサ福音キリスト教会(GMIM)を訪問し「宣教協力覚え書き」を交わしたことが報告され承認された。

▼牧会者とその家族のための相談室設置準備委員会▲

CMCCに協力を依頼

1月23・24日、第2回牧会者とその家族のための相談室設置準備委員会が教団会議室にて開催された。今回の委員会では話し合われた課題、一つ目は「牧会者とその家族のための相談室」設置要項(案)の検討。二つ目はCMCC(キリスト教メンタル・ケア・センター)への訪問である。この委員会は、2009年より、宣教委員会の下にある「障がい」を考える小委員会において、牧会者やその家族の自死や精神的疲労、それに伴う教会の崩壊的狀況、その深刻な問題が協議さ

など」の訪問も行う。10月6日に第1回準備会を開き、11月8・9日に現地見を行った。詳しいプログラムをこれから検討し、各教区・各委員会に参加者派遣要請をおこなう予定である。また、三国間(スイス、韓国、日本)青年プログラムについては、主催者である韓国側からの提案

会者とその家族に対する『魂の配慮と精神的ケアに関する基本的研究ならびに実際の諸問題』に取り組むことにある。そのため、電話による相談、のため、電話による相談、のため、電話による相談、のため、電話による相談、のため、電話による相談、のため、電話による相談、ため

教区議長コラム

◆ 奥羽教区 ◆

邑原 宗男

2011年3月11日から、奥羽教区常置委員会は、被災教会と共に歩み続けています。被災教会礼拝堂・牧師館の再建・修築については2016年度にすべて完了しました。このことは教団の全面的な支援とともに、全国の教会、また、在日大韓基督教会関東地方会と大韓イエス教長老会のご支援が大きくありました。

返済に努める教会と共に

北上教会の大規模修繕と新修繕実施し、現在返済中です。生金石教会の修築は、自己資金(含むお見舞金と教区支援金)により完了しました。千厩教会は移転新築にあたり、教団・教区の支援、自己資金(含む見舞金)及び、教団より250万円の借入金により完了しました。借入金は教会跡地・幼稚園跡地の売却により返済を進めています。教区は再度支援を決定(2017年度)し教会債の返済に努め、教団からの借入金4000万円の返済に努めるよう支えています。江刺教会は教団・教区の支

消息

永田 實氏(隠退教師)

17年12月15日逝去、103歳。岡山県生まれ。

49年日本聖書神学校卒業。52年より吉備教会を

牧会し、90年隠退。

遺族は、娘・永田めぐみさん。

林田秀彦氏(隠退教師)

17年12月27日逝去、88



青戸歌子氏(隠退教師)

18年1月2日逝去、76



18年1月2日逝去、76歳。東京都生まれ。67年日本聖書神学校卒業。同年より札幌、函館聖十字

谷村、青梅、青山、和歌山、藤枝、小金井西ノ台教会を牧会し、12年隠退。遺族は、妻・鍋谷順子さん。

東京神学大学卒業。同年より根津教会を牧会。遺族は、妻・鍋谷順子さん。

中村周行氏(隠退教師)

17年11月4日逝去、87



18年1月12日逝去、86歳。静岡県生まれ。61年日本聖書神学校卒業。同年より飯盛野、大宮、新



任担任教師) 18年1月3日逝去、70歳。福井県生まれ。01年

事務局報

教師異動

首里 辞主(竹花和成 西宮共同就担) 竹花和成

宿河原 就(代) 飯田輝明 香住 就(代) 藤本 真 徳之島 辞(主) 渡辺健一



上、夕景の礼拝堂。下、被災した教会員のピアノと筆者。

名取市は仙台の南隣、太平洋に面する町です。かつては田畑が広がる農漁業の町でしたが、子育て世代を中心に人口が流入し、現在は大型の商業施設や新興住宅地が増えつつあります。名取教会は駅近くの住宅街に建つ、町の中心部で唯一のキリスト教会です。

故・小田忠夫先生（東北学院）が自宅の敷地の一部を提供くださった、1983年に仙台長町教会の名取伝道所としてスタートしました。

名取教会も教会員と会友の4名もの貴重な命を失いました。礼拝堂にはその一人が愛用していたピアノが遺されています。津波による家屋流失3件に加え自宅の全壊・半壊も3件。市内の放射能被害は未知ですが、福島県で就農していた教会員は長期間作物が売れませんでした。教会と牧師館も被災したものの、教会員と関係者、そして地域の方々の被害全体の中では小さな群れが、ささやかな「接点」になっているのです。

名取教会の長椅子は戦後に駐留軍の礼拝堂で使用されてきました。かつて憎み争い合った民が、時代を越え同じ椅子に座り、贖いと和解、希望と慰めの御言葉に耳を傾けてきました。前述の各種訪問団が同時にこの礼拝堂に居合わせたことはありません。しかしこの長椅子の存在と同様、世界には和解の言葉を届け、また地域には被災ピアノの音色と共に希望と慰めを響かせたいと願っています。

伝道

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。…イエスは言われた。「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」

ルカによる福音書第10章17節～20節

小さな群れが、ささやかな「接点」に

東北教区・名取教会牧師 荒井 偉作

ト、2009年には第2種教会に。昨年初めて教会員ベビーが誕生したばかりの若い教会です。

また教会の長老会は牧師を含め全員が農家出身または農業経験者ゆえ牧歌的にして開拓精神旺盛な教会形成をしています。

2011年3月11日、激しい揺れの後に津波がこの町の沿岸部にも幾度となく押し寄せました。沿岸部の住宅地は真つ黒な津波に飲み込まれ、海岸から最遠部では約5キロの地点まで海水が到達しました。

小さな一点でしかありません。現在の名取教会の礼拝出席者数は20名前後です。震災前と数字上は変わりませんが、顔ぶれは次々と入れ替わりました。震災以降、逝去者、転出者、転居者が20名近くになりました。それと同時に、受洗者、転入者、新来の求道者もほぼ同じ人数に上ったのです。また、震災後に再開した教会学校は子どもと大人で10名を超えるようになり、地域向けの礼拝と行事には近隣の多くの親子が集います。

これまで教会に縁のなかった一人ひとりの出会いや笑顔を通して、数字では測れない大きな恵みを実感しています。現在も国内・海外から来訪者は途絶えません。普段は接点のないグループが次々と名取を訪れますが、国籍や年代、活動内容は異なれど、被災地のために真摯に祈りつつ足を運んでくれる点では一致しています。

ある時ふと、政治的に対立する国々からそれぞれ訪問者があることに気付きました。そしてよく見れば、国内の訪問団の間にも溝や確執があります。違いはあれ、一人ひとりの温かい笑顔が印象的です。被災地の小さな群れが、ささやかな「接点」になっているのです。

ブリュッセル・ケルン 日本語教会報告

2018年1月12日から19日にかけて、ベルギー・ブリュッセルとドイツ・ケルン、デュッセルドルフに出張した。

ブルュッセル日本語プロテスタント教会に2017年4月から赴任している川上真咲、川上寧宣教師の訪問と礼拝説教の担当は勿論のことであるが、今回は、受入団体であるBEM（ベルギー福音宣教会）の「evaluation」（評価）が加わった。

「evaluation」という言葉には重たい響きがあるかも知れないが、実際は丁寧なヒヤリングであった。BEMは、主にイギリス人がベルギー人に福音を伝える教会を生み出す熱い宣教団体である。フランス語を習得し、外国人であるベルギー人に福音を伝える困難と孤独、そして喜びを知っている。だからこそ、川上真咲・

ケルンでは、ケルン・ボン日本語キリスト教会の家庭集會に佐々木良子宣教師と共に参加した。1月の教会総会では、2022年までの任期の延長が可決された。かつては、ケルン・ボン日本語キリスト教会に派遣された宣教師の謝儀はフライラント州教会が担った。しかし、先代の齋藤篤元宣教師の時から謝儀は教会と支援会が担うことになった。

教会の規模が小さいブリュッセル日本語プロテスタント教会では支援会の負担は更に大きい。しかし、宣教師もその支援会も「すべての民をわたしの弟子にしなさい。」（マタイ28章19節）とのみ言葉を信じ喜んで従っている。



ケルン・ボン日本語キリスト教会の家庭集會にて



林 和子さん

全国教会婦人会連合 ～御言葉の実践の場として～



広島県出身、野田教会員。

義母は、長く全国教会婦人会連合の働きの中心を担った林敏子さん。和子さんのものとのお出前はルーテル教会。結婚後初めて教団の教会を知り、気付いたときには婦人会連合の働きに加えられており、義母がどのような人であったのかを、徐々に知らされることになる。

生まれば広島島の江田島。戦後、家族で静岡に。母親のお花の先生の紹介で、小学5年生の時に、近所のルーテル教会に導かれ、高校2年生の終わりに洗礼を受ける。洗礼の準備段階で、ルターの小教理問答を叩き込まれたことが、現在の信仰の土台となっている。

教団の教会での信仰生活の始まりは、婦人会連合での歩みのスタートをも意味していた。義母の勧めもあり、海外のクリスチャンと同等に議論することを想定し、英語でのディスカッショングループでの英語力を鍛え、海外での信仰的な交流の場に頻繁に参加する30代を過ごした。

前回のこの欄で紹介した、秋南教会（秋田県）の瀬谷重治牧師の忘れられない言葉がある。瀬谷牧師には、私が神学校に行く前から、地区の青年会などで指導いただいていた。神学校を卒業し、当時もたれていた秋田県牧師会の時に、私が、「この広大な地域で伝道をしていて、先生はどのように信徒の方たちの牧会をしているんですか？」と聞いた。秋田県の半分から3分の2ほどの広い地域で、今も瀬谷牧師独特のユーモアのある表現ではあるが、「放牧」とは、牧会をしないではあったらしく、

青山学院大学入学と同時に上京、東京でもルーテル教会に出席し続ける。静岡に戻り就職、静岡英和の教諭としてしばらく働き、その後結婚し、同時に教団の教会での信仰生活がスタートした。

委員長の経験を含めた30年近くに亘る婦人会連合での働きは、自分の傲慢さが打ち砕かれた歩みだったと振り返る。地元の千葉で10年ぶりの全国集會が開催されることを楽しみにし、正典としての聖書を読むという基本姿勢の継続を願っている。

前回のこの欄で紹介した、秋南教会（秋田県）の瀬谷重治牧師の忘れられない言葉がある。

私の質問に、瀬谷牧師は間髪入れずに、「ウチは放牧だから」

ウチは放牧だから

と云って豪快に笑ったのである。「放牧…!？」と、一瞬言葉が出なかつたことを覚えている。瀬谷牧師独特のユーモアのある表現ではあるが、「放牧」とは、牧会をしないではあったらしく、

していているということではなく、まず、信徒を信頼しているということ。そして、それぞれの拠点に中心となる信徒を育てて、普段はその信徒が礼拝や、時には葬儀の準備やら諸々のことを行い、牧師が行くと、必要な用意は整っているというように導いていたということである。時々「放牧」との言葉を思い起こし、手をかけ過ぎて羊が伸び伸びと成長することを妨げたりすることが無いように…といったことを考えさせられている。（教団総会書記 雲然俊美）